



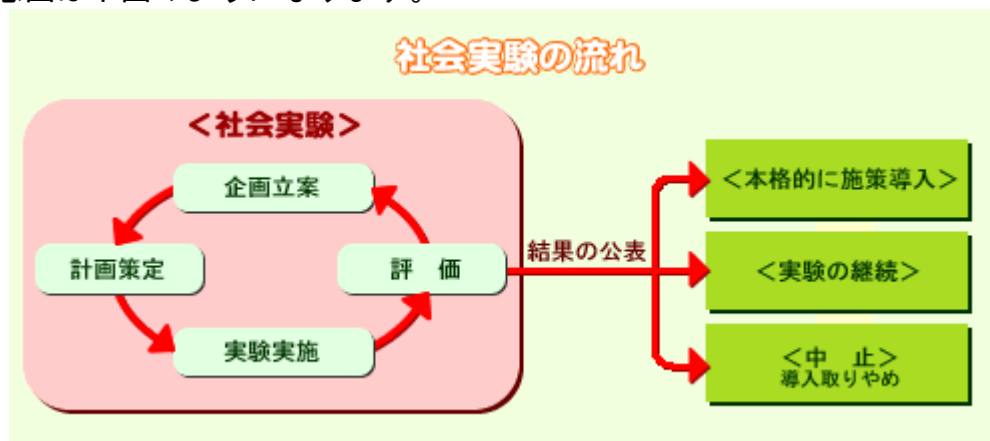
## 伝えてください。現状は? ～ 効率的な除排雪に向けて青森市内で社会実験実施 ～

青森の冬からは切っても切れない雪。青森では再び寒気が入り、県内各地で大雪となりました。そんな雪国で暮らす私たちにとって、雪対策に関することは非常に高い関心事なのですが、必要性を強く感じていてもそれに対する満足度は決して高くない状態にあるようです。

そこで、満足度向上のため、『あおりITS推進研究会』では、国土交通省で行っている社会実験実施地域に応募し、その実施地域に選定されました。青森市内の効率的な除排雪に向け、国県市で除排雪車の位置情報の共有を図り、より効率的な除排雪体制の構築を検討・実施する目的で、青森市在住の方に市民サポーターになっていただき、1日1回程度、職場・自宅・学校等の周辺の積雪情報や除排雪の情報をGPS機能付き携帯電話で撮影し送信していただくという内容です。

実施期間はこの1月中旬から2月中旬の間で、市民サポーターからの情報を国県市の道路管理者が共有することで、より効率的・効果的な除排雪に取り組んでいきたいと考えております。なお、[詳細はこちら](#)をご覧ください。

社会実験とは、新たな施策の展開や円滑な事業執行のため、社会的に大きな影響を与える可能性のある施策の導入に先立ち、市民等の参加のもと、場所や期間を限定して施策を試行・評価するもので、地域が抱える課題の解決に向け、関係者や地域住民が施策を導入するか否かの判断を行うことができるものとして実施されており、概念図は下図のようになります。



今号が2008年の最終号になります。今年も一年間、大変お世話になりました。また、来年もよろしく願いいたします。